

●本町の防災に係る取組について

1. 東日本大震災を踏まえた防災体制の見直し・強化

平成23年3月に発生した東日本大震災の発生を受け、国や宮城県の計画見直しに伴って、本町においても、平成26年2月に、それまでの内容を見直し・再編した『亙理町地域防災計画』が策定された。

策定にあたっては、特に課題となった『避難時の配慮』や『避難所でのプライバシーの確保』などの反省を計画に反映させるため、委員定数を20名から30名に増員し、特に女性や子ども・高齢者などの視点からの意見を取り入れるため、一般公募により女性委員を3名委嘱して検討を深めたほか、避難行動のための体制整備や防災意識の向上、発災時等の情報の収集・伝達の強化、自主防災組織の育成等について、協議が重ねられたものである。

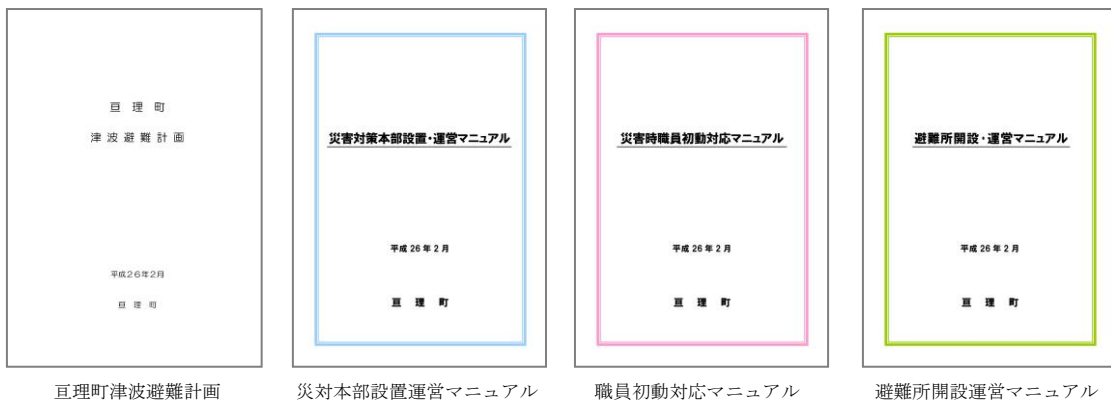


2. 各種関連計画・対応マニュアルの整備と総合防災訓練

地域防災計画の見直しに合わせ、東日本大震災時のアンケート調査・実証実験等を踏まえた下記の各種関連計画、対応マニュアル等も整備された。

また、それらの実効性を高めることを目的に、例年、全町的に実施する『互理町総合防災訓練』において、参加者それぞれの立場から、想定に即した対処行動を訓練しているものである。

○策定された計画・マニュアル等（H26.2）



○総合防災訓練の様子



自動車による津波避難訓練



災害対策本部設置運営訓練



職員による避難所運営対応



避難所での避難者情報確認